

洗練されたフォルムと徹底追求された機能性

本体重量 **4.8kg** センサー部 **3mm** の薄さを**実現**
(本体最大突起部45mm)

4.8kg だから出来る事

日々使用する検査機器だからこそこだわったコンパクト設計
本体重量は4.8Kgなので、片手で持って移動する事ができます。
それにより、使用する時だけ素早く設置する事ができ、使用場所の省スペース化が可能です。
付属の専用キャリングケースに収納すれば、持ち運びもスムーズに行えます。

3mm だから出来る事

センサー部の厚さが3mmなので、歩行検査時に段差を上げるような
不自然さが無い信頼性の高いデータが得られます。
また、段差が無い事は、被験者の負担を大幅に軽減する事にもなり、
通常の歩行が困難な高齢者等へ検査可能な対象が広がります。

- スリム設計** 世界最薄クラスのセンサーを採用
- 多様性** 様々な評価機能を使用して多角的なアドバイスが可能
- 携帯性** 持ち運び用ハンドルで携帯性が向上 (専用キャリングケースを付属)
- 簡単操作** はじめての方でも直感的な操作が可能
- デザイン性** 省スペースで測定が可能な洗練されたデザイン
- ディスプレイ** LED&LCDが本体ディスプレイに表示され視覚的に状況を把握
- 高精度** 高精度な測定データを保存し、過去のデータを読み出す事が可能

OUTLINE

仕様

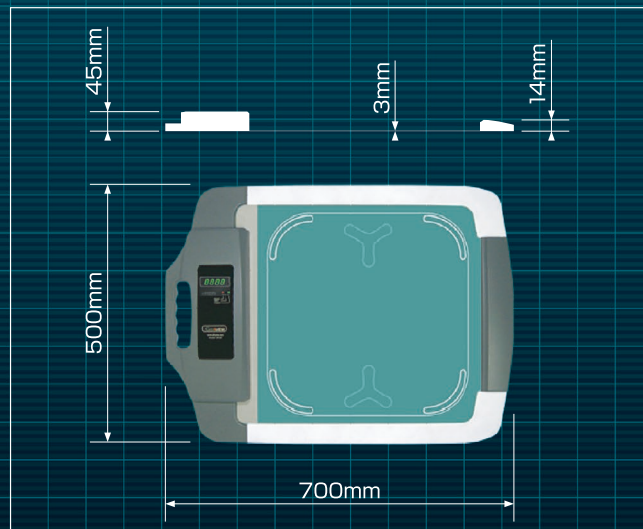
クラス分類	1種 一般医療機器
類別コード・名称	機械器具(24)知覚検査又は運動機能検査用器具のうち平衡機能計
一般的名称・コード	平衡機能計 17242001
販売名	ゲート・ビュー UGA-526
医療機器届出番号	11B2X10039GV0001号
型番	UGA-526
電源電圧	ACアダプター
外形寸法	L700×W500×H45mm
測定範囲	410×410mm
重量	4.8Kg
センサータイプ	48×48マトリックスセンサー
センサーサイズ	0.73cm ²
センサー厚み	0.15mm
センサー個数	2,304個(48個×48個)
動作温度	-40℃～85℃
耐荷重量	100N/cm ² (1kg=9.8N)
インターフェイス	USB 2.0
外部電源	5V
計測回数	≥86回/秒
アナログ→デジタル変換	16ビット

ソフトウェア動作推奨環境

O	S	Microsoft Windows 10・7(32・64bit)
C	P	Intel core i5以上
メモ	リ	8GB以上
画面		1024x768ドット/32bitカラー表示が可能なディスプレイ
ハードディスク		500GB以上
必要容量		
USB		USB2.0

※すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
※Macintosh、Windows8には対応していません。
※Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※Intel coreは、Intel corporationの米国およびその他の国における商標です。
※仕様及び外観は、予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。
※このカタログの記載内容は2022年6月1日現在のものです。

寸法図



製造販売元



アイノン株式会社

〒332-0032 埼玉県川口市中青木3-12-21
TEL.048-299-3597 FAX.048-299-3598
ホームページ <http://www.aison.jp>
お問い合わせメール support@aison.jp

販売代理店

GAI+VIEW

GAITVIEW UGA-526

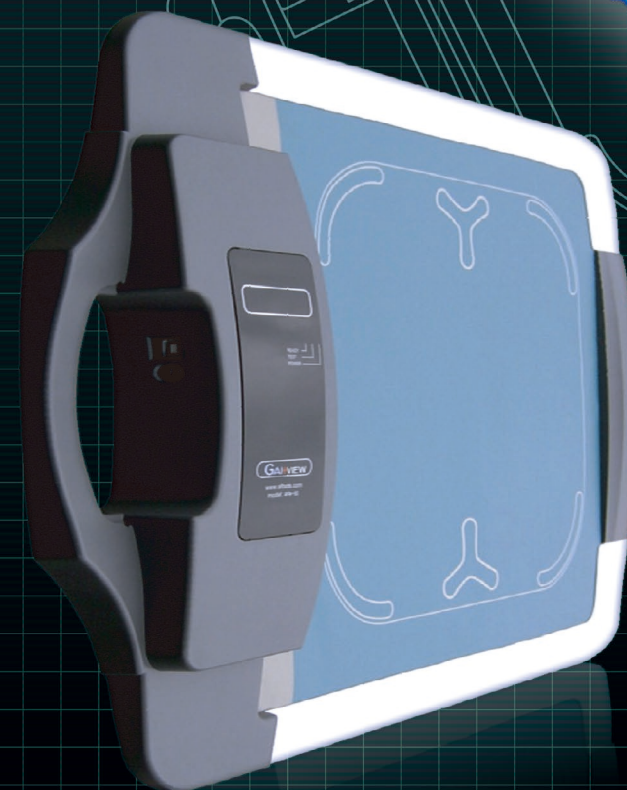
1種 一般医療機器 平衡機能計

ゲート・ビュー

It's slim

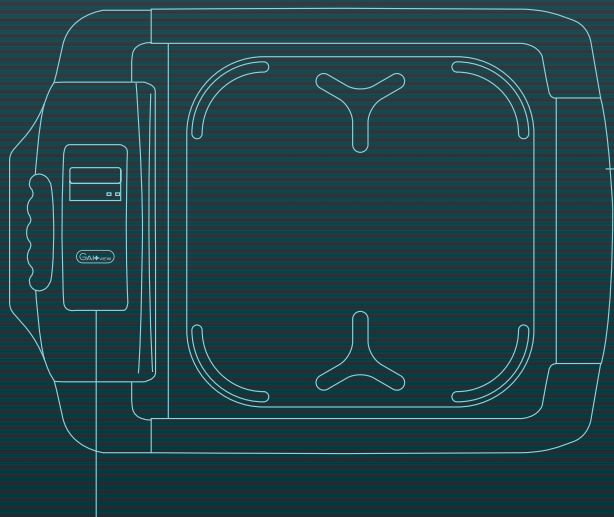
THICKNESS 3.0mm

WEIGHT 4.8kg



Slimness
the slimmest scanner in the world.
Essence
easy test and easy operation.
Accuracy
accurate test and data.
Diversity
multi-analyzing tools.
Mobility
portable design with handle.
Design
advanced and refined design.
Display
LCD and LED display with high tech.
Communication
sending chart by e-mail.

aison
Leading the way



静止立位検査、歩行検査、平衡機能検査を1台に集約 様々な検査目的への対応を実現したゲート・ビュー登場

1台であらゆる検査が可能

従来の静止立位検査と歩行検査に加え、臨床での活用が期待される平衡機能検査(重心動揺検査及び下肢加重検査)に使用できる機能を標準搭載。いくつもの機器を組み合わせる事なくゲートビュー1台で検査を完結できます。

画像と数字による検査結果

画面に映し出された検査結果は、画像と数値で表示されるため、被験者も直観的に状態を把握できます。それにより、説明やアドバイス時の複雑な説明を省く事が可能になりました。

経験則に新たに加わるデータ

複数の使用者による評価の差を無くし、評価を定量化する事が可能です。保存したデータはデータベース化され、経年変化を記録し、複数の臨床でのデータ共有が可能になりました。

検査時間の短縮化を徹底追求

短時間で検査を行える事により、検査の効率化が可能であり、被験者の負担も軽減できます。ゲートビューは、検査時間の短縮を追求しました。

検査時間の目安
静止立位検査 10秒～30秒
歩行検査 10秒～15秒
平衡機能検査 60秒～140秒
(重心動揺検査 開眼・閉眼検査時)

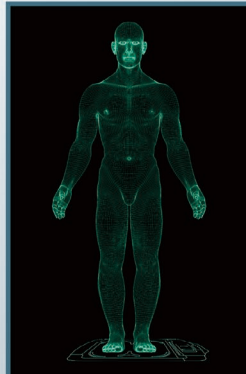
コンピューターグラフィックスを駆使した、見やすい画面デザインと直感的操作

静止立位検査

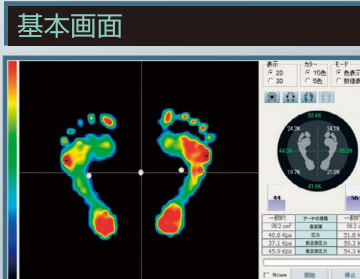
下肢荷重検査

プレートに両足肩幅で乗り、足底圧力の分布状態を検査をします。検査時間内の平均圧力データを静止画として表示します。

POSTURE



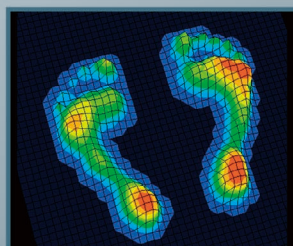
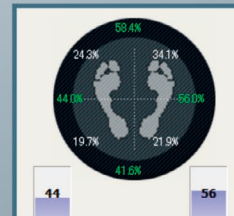
MONITOR



圧力分布の色分け表示や前後左右バランスを%表示します。接地状態を分析しアーチの種類の確認も行えます。

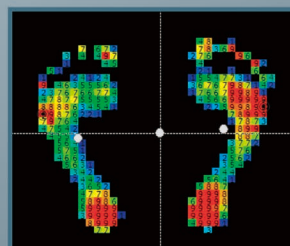
バランス表示

前後・左右のバランスを数値化して表示します。



3D表示

3D画面での説明は足底の接地状態をリアルに再現し、被験者の理解度を高めます。



数値表示

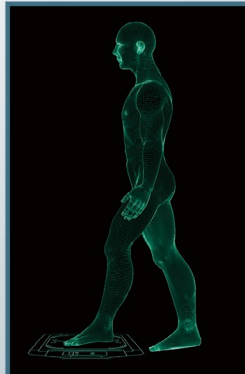
色分けされた圧力分布を更に数値化します。(1～9段階)

歩行検査

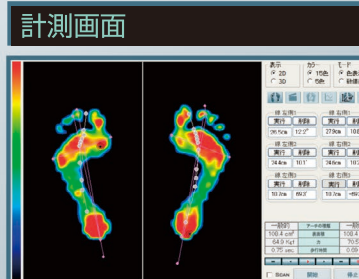
フォースプレート分析

片方ずつの足でプレートを踏んで歩行し検査します。圧力中心線の軌跡や歩行周期を動画で記録できます。

POSTURE

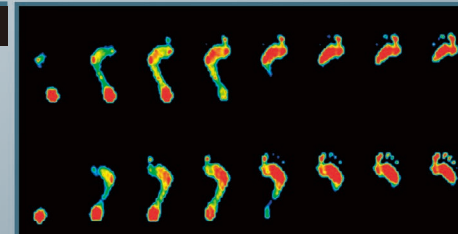


MONITOR



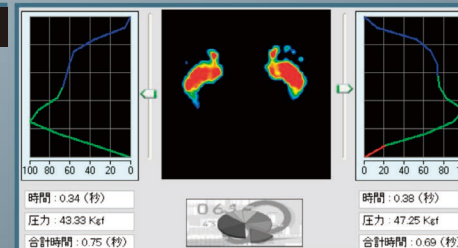
足長、足幅、角度の計測が行えます。圧力中心線の軌跡から回内足、回外足等の歩行異常の分析が行えます。

フレーム分布



歩行時の接地状態を0.06秒毎のコマ送りにしたデータです。左右のフレーム数の違いから被験者へ荷重時間の差を視覚的に説明する事が出来ます。

歩行周期



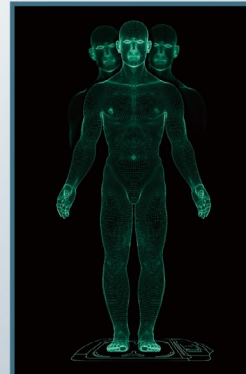
歩行周期を時間観察します。同時期の左右の足を比較対照します。

平衡機能検査

重心動揺計

静止立位状態での重心動揺軌跡を動画で記録する事ができます。

POSTURE



MONITOR



重心の動揺奇跡を動画で経過観察や記録ができます。動画で記録出来る事により、重心動揺計以外の用途にも使用でき、各機能訓練の現場でも経過観察に活用できます。

グラフ

重心線の軌跡をグラフ化し分析します。

主な検査項目

D250 平衡機能検査

- 下肢加重検査 250点**
 - 左右足の荷重量を記録・分析し、左右下肢のバランスを静的に評価します。
 - 整形外科的疾患・リハビリテーション対象疾患・脳血管系疾患・脳外科的疾患・神経科学的疾患等の評価
- フォースプレート分析 250点**
 - 歩行時の動的な分析、評価を行います。
- 重心動揺計 250点**
 - 外周面積・矩形面積・実行値面積
 - 総軌跡長・単位軌跡長・単位面積軌跡長
 - 動揺中心変位 ○ロンベルグ率
 - めまい・平衡障害や機能回復訓練の評価

プリントアウト

PRINT OUT

静止立位・歩行検査レポート



平衡機能検査レポート



データベース

DATA BACE

データベース化されたデータを利用し比較できます。検査データは、測定日時毎に追加記録されていき、以前のデータと現在のデータを画像で比較検討できます。治療や訓練による改善状態を被験者に対して視覚的な説明が行えます。